

# 平成 2 0 年度新規事業評価調書

## 【農道整備事業】

農林水産局農地整備課

## 事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 二位孝夫 (課長補佐兼県営整備係長 相埒利率)	内線	4003 (4014)
------	-------------------------	---------------------	----------------------------------	----	----------------

事業種目	農道	事業名	事業区間	総事業費	2.1 億円
		一般農道整備事業	印南地区	内用地補償費	- 億円

所在地	事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
-----	--------------	-------------	-------------

兵庫県加古郡稲美町印南	H20	H20	H21
-------------	-----	-----	-----

事業目的	事業内容
農作物の品質向上や運搬経費節減等により農産物を安定的に供給し、農業の振興を図るため、ほ場整備済み区域内の未舗装農道について舗装を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農道舗装 7.4km (W3.0~5.0m)</li> <li>・負担率 [国45% 県27.5% 町27.5% 地元0%]</li> </ul>

評価視点	評価結果の説明
(1) 必要性	<p>稲美町は県下でも有数の野菜産地であり、特にキャベツは第4位の生産量を誇っている。これらを支えている認定農業者等の農業生産性向上を支援するとともに、農地利用集積を促進する。</p> <p>「ひょうご安心ブランド」や「いなみブランド」である軟弱野菜やトマト、メロン等の農産物を「ふぁ～みんSHOPいなみ」や「いなみ朝市」等で地域に提供しており、これら地産地消の取り組みを支援する。</p> <p>砂利道運搬による軟弱野菜等の荷傷みや土ほこりによる品質低下を軽減し、消費者に良質な野菜を提供する。</p>
(2) 有効性・効率性	<p>費用便益比 B/C=1.09 (便益額B=242百万円、総費用C=223百万円)であり、事業としての効果が十分に期待できる。</p>
(3) 環境適合性	<p>施工にあたっては舗装資材に再生材を利用することにより自然環境への影響を軽減する。</p>
(4) 優先性	<p>野菜の品質向上と輸送経費節減を図り、消費者に新鮮な農産物を安定的に供給するとともに野菜産地を支えるため、農道舗装が急がれる。</p> <p>本地区の舗装率は町平均73%に比べ47%と町内で最も低いため、農道舗装が急がれる。</p>

# 平成 20 年度新規採択希望 一般農道整備事業 印南地区 計画一般図

S ≒ 1/30,000

カントリーエレベーター  
野菜集出荷場

担い手を中心とした安全安心な農作物の供給

農道舗装 L=7.4km  
受益面積 A=101ha

朝市等

稲美町役場

地産地消

キャベツ出荷状況

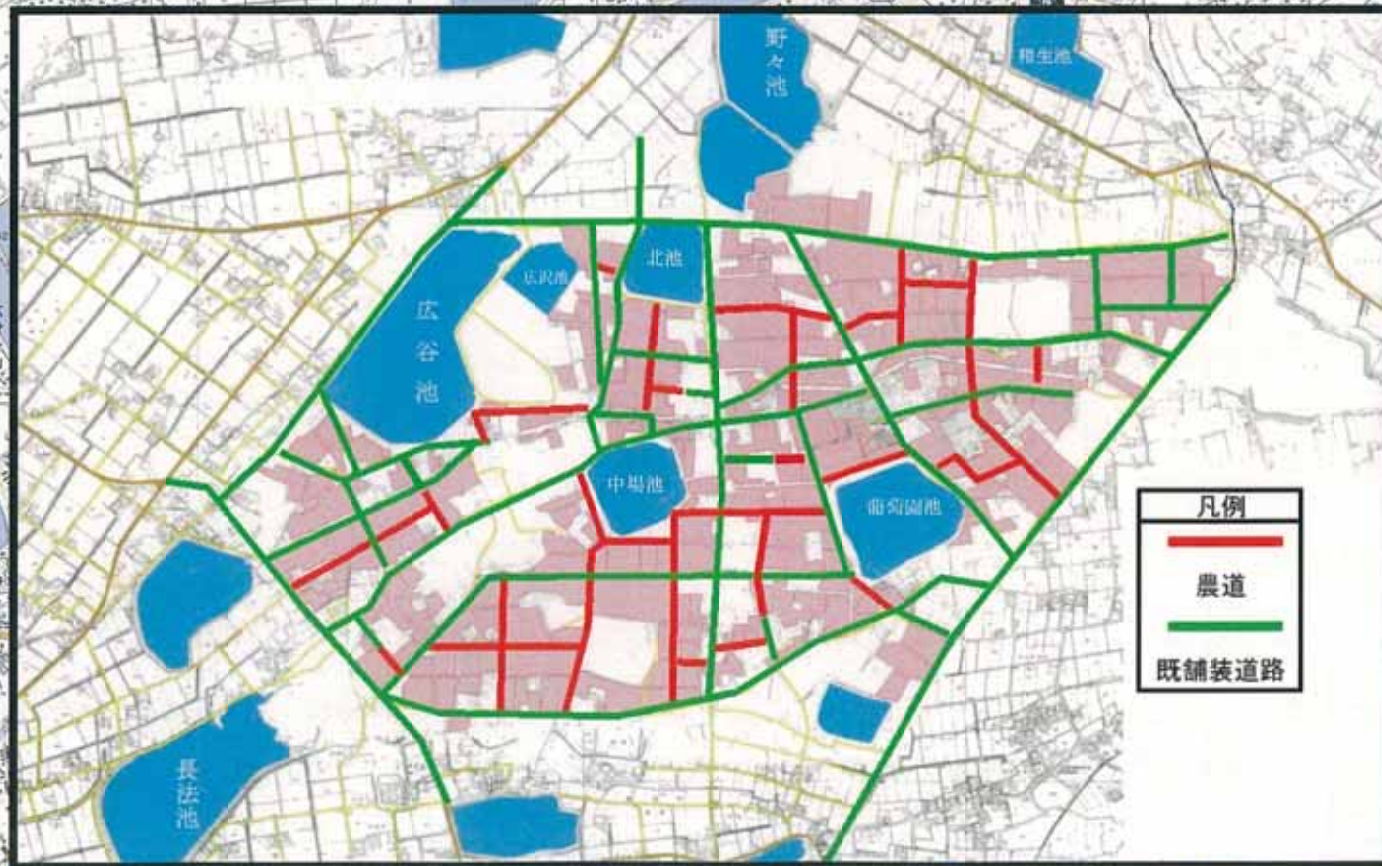
盛んなキャベツ栽培

いなみ野メロン

いなみ朝市  
&  
ふぁーみん  
SHOPいなみ

車両通行による土埃

作物運搬(軽トラック)



工程表

	H20	H21				
設計・調査	■■■■					
舗装工		■■■■■■■■■■				

B / C 根拠説明資料

便益(B)の項目

事業	B(便益)	算出方法
農道	農業経営向上便益 農産物の輸送等にかかる 時間短縮による便益	整備無しの走行経費 - 整備有りの走行経費 走行経費： ((通作時間 + 輸送時間) × 時間当たり経費)
	農業生産向上便益 荷傷みが減少することによる便益	荷傷みの減少による出荷量の増加 荷傷み防止による出荷増加量 × 作物単価

費用便益比(B / C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		C(費用)			B / C
		便益額 (百万円)	代表的な効果	総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
農道	一般農道 整備事業	農業経営向上便益	198	223	223	/	1.09
		農業生産向上便益	44				
		計	242				

費用便益比算定：「土地改良事業における経済効果の測定方法について」(農林水産省構造改善局通達)